

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

環境創造センターに係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立福島高等学校	
対象児童・生徒	第一学年	
事前学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○書籍、インターネットを利用して事前の調査を行い、再生可能エネルギーの種類と、その特徴を知る。 ○環境創造センターの展示物に関して、疑問点をまとめる。 ○各自で見学のテーマを設定し、目的を明確にして見学に臨む。
	期待できる成果	<p>様々な再生可能エネルギーについて知ることができる施設である。また、目的を明確にすることで主体的な参加を促すことができる。</p>
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の見学や体験活動を通して、原子力発電所の事故と、再生可能エネルギーについて学ぶ。 ○霧箱の実験を通して放射線について学び、その性質を理解する。
	期待できる成果	<p>大型の霧箱を用いた実験が行えるので、放射線の飛跡を目で見ても理解することができる。また、展示物の説明が丁寧であり、十分理解できる。</p>
事後学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の質疑応答の結果や写真などを盛り込んで各自がレポートにまとめる。 ○班ごとにパワーポイントにまとめ、全体で発表を行い、各訪問先で得られた情報の共有を行う。 ○SSH校内研究発表会で発表を行い、保護者や地域の方々、他校との生徒達との意見交換を行う。
	期待できる成果	<p>生徒一人ひとりが、今後のエネルギーの在り方について考える契機となり、意見をまとめて発表することで、学習をより深めることができる。</p>